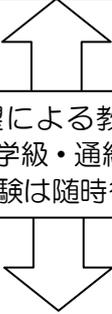


養老町教育委員会「早期からの一貫した教育支援」年間計画

月	● 認定こども園・保育園 ◆ 小中学校	■ 教育支援委員会・教育委員会	他機関との連携
4	<p style="text-align: center;">上</p> <p>●◆ 園・校内委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> 本年度の方針の確認 園児・児童生徒の情報共有 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin: 10px 0;"> 支援の必要な幼児児童生徒について、年間を通して全職員で情報交流を行う。必要に応じてケース会等を行う。 </div> <div style="text-align: center; margin: 0 100px;"> </div> <p>下</p> <p>●◆ 個別の教育支援計画・個別の指導計画作成</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin: 10px 0;"> 本人・保護者との合意形成を図って作成する。家庭訪問・懇談時に評価・見直しを図っていく。 </div> <div style="text-align: center; margin: 0 100px;"> </div>	<p>■ 校長会・園長会</p> <p>(目的) 今年度の教育支援の方針確認。 (内容) 事務局より方針等説明。 (参加者) 小中学校長、認定こども園長、私立保育園長</p> <p>■ 支援員研修会</p> <p>(目的) 今年度の教育支援の方針確認と、支援の在り方について学ぶ。 (内容) 事務局より方針等説明 ・講話 (参加者) 支援員及び希望者対象</p> <p>■ 第1回特別支援教育コーディネーター会議</p> <p>(目的) 今年度の教育支援の方針確認と、コーディネーターの役割について共通理解を図る。 (内容) 事務局より方針、役割等説明。 ・教育支援委員会委員委嘱。 (参加者) 各園・小中学校特別支援教育コーディネーター</p>	<p>子ども課</p> <p>西濃圏域発達障がい支援センター</p>
5	<p>● 知能発達スクリーニング検査及び新就学児アンケート</p> <p>● 子ども課による園巡回訪問</p> <ul style="list-style-type: none"> すべての公立認定こども園 理学療法士同行。 気になる園児へのよりよい支援の在り方について助言。 <p>●◆ 園小連携交流会</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> 小学校と校区にある園の年長児と小学校との交流会。 円滑な接続のため、月1回程度年間を通して行う。 各園・学校ごとに交流する学年や活動内容は工夫されている。 </div> <div style="text-align: center; margin: 0 100px;"> </div>	<p>■ 第1回特別支援教育推進連絡会</p> <p>(目的) 養老町の特別支援教育に関わる各機関の本年度の事業計画について共通理解し、早期からの一貫した支援をつないでいくための連携の在り方について協議する。 (内容) 各機関より事業計画説明 ・協議 (参加者)</p> <ul style="list-style-type: none"> 大学教授(アドバイザー) 教育長(組織の総括) 保健センター所長(乳幼児検診担当) そよかぜ教室長(幼児療育担当、スマイルブック作成) 園長会代表(認定こども園・保育園との連携) 小中学校長会特支担当校長(小・中学校の連携) 教育総務課長(小・中学校の統括) 健康福祉課長(障がい者福祉(卒業後)担当、保健センター・そよかぜ教室の統括) 子ども課長(認定こども園・保育園の統括) 	<p>大学教授 子ども課 健康福祉課</p>
6		<p>■ 小中学校への巡回訪問の実施</p> <p>(目的) 支援が必要な児童生徒の様子の把握 (内容) 訪問チームによる観察 →対象児の観察の視点を各校より事</p>	

			<p>校より全保護者に配布。町広報誌にも掲載。</p> <p>(相談員) 西濃圏域発達障がい支援センター専門支援員、大垣特別支援学校コーディネーター、通級指導教室担当者、園特別支援教育担当者</p> <p>■特別支援学級及び通級指導教室の設置要望等の報告(第1次報告・町→県教委)</p>	
9		<p>◆教育相談</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>保護者の希望による教育相談や、特別支援学級・通級指導教室の見学・体験は随時行う。</p>  </div>	<p>■園への巡回訪問</p> <p>(目的) 5歳児が在園するすべての園(認定こども園・私立保育園)において支援が必要な幼児の様子を把握。</p> <p>(内容) ・訪問チームによる観察 →対象児の観察の視点を各園より事前に提示(身体面、学習面、行動面等) ・支援の在り方について助言 ・必要な移行支援について指導 ・保育士からの相談</p> <p>(大切にしていること) ・継続的な支援をする。 ・一度相談を受け付けてもその後に繋がらず終了してしまっている場合があるため、期間をおいて、再度連絡をとる。 ・巡回訪問時には相談記録を資料とする。 ・保護者への理解を図るための指導も行う。</p> <p>(訪問チーム員) 大学教授等、就学先小学校の特別支援教育コーディネーター、そよかぜ教室長、事務局</p>	大学教授 子ども課
10	下	<p>◆就学時健康診断</p> <p>◆第2次園・校内判定</p> <ul style="list-style-type: none"> 支援の必要な幼児児童生徒の様子、支援について交流。 就学判定に向けた検討。診断書や発達検査の結果、1・2学期の様子などを基に第2次判定を行う。 	<p>■第2回教育支援委員会</p> <p>(目的) 園・校内判定に基づく対象幼児児童生徒についての報告と・町教育支援委員会としての最終判定を行う。</p> <p>(内容) ・第2次園・校内判定について報告 ・町教育支援委員会として最終判定</p> <p>■園・学校へ「入級(入校、通級)のすすめ」の送付</p>	

11		<p>●◆保護者へ「入級（入校、通級）のすすめ」送付</p> <p>●◆保護者からの「入級（入校、通級）申請書」を町教委へ提出</p>	<p>■第2回特別支援教育推進連絡会 （目的）今年度の養老町の特別支援教育に関わる各機関の連携について見直し、次年度の在り方について協議する。 （内容）・各機関より報告 ・事業の施策の見直し ・協議 （参加者） ・大学教授（アドバイザー） ・教育長（組織の総括） ・保健センター所長（乳幼児検診担当） ・そよかぜ教室長（幼児療育担当、スマイルブック作成） ・園長会代表（認定こども園・保育園との連携） ・小中学校長会特支担当校長（小・中学校の連携） ・教育総務課長（小・中学校の統括） ・健康福祉課長（障がい者福祉（卒業後）担当、保健センター・そよかぜ教室の統括） ・子ども課長（認定こども園・保育園の統括）</p>	大学教授 子ども課 健康福祉課
12		<p>●◆個別の教育支援計画・個別の指導計画の評価、見直し</p>	<p>■特別支援学級及び通級指導教室の設置要望等の提出（最終・町→県教委）</p> <p>■特別支援学校への就学手続き</p>	
1				
2	上 下	<p>●◆特別支援学校入学説明会</p> <p>◆小中学校入学説明会</p>	<p>■第3回特別支援教育コーディネーター会議 （目的）今年度の振り返りと来年度への引継ぎ。 （内容）・配慮の必要な児童生徒についての引継等、園・学校間での情報共有 ・講話 ・各学校・園からの相談 （参加者）各園・小中学校特別支援教育コーディネーター</p>	西濃圏域 発達障がい支援センター
3		<p>●◆個別の教育支援計画・個別の指導計画の評価、引継ぎ</p>		